



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 出光興産株式会社

コード番号 5019 URL <http://www.idemitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 和久

問合せ先責任者 (役職名) 経理部IR室長 (氏名) 橋床 泰治 TEL 03-3213-9307

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,052,425	△0.7	27,933	△62.6	23,904	△68.4	2,448	△94.3
24年3月期第2四半期	2,067,658	19.6	74,762	41.1	75,563	36.0	42,825	64.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,272百万円 (△89.7%) 24年3月期第2四半期 51,141百万円 (336.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	61.22	61.17
24年3月期第2四半期	1,070.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,548,082	612,253	22.9
24年3月期	2,682,139	614,513	21.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 584,263百万円 24年3月期 586,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	75.00	—	125.00	200.00
25年3月期	—	100.00			
25年3月期（予想）			—	100.00	200.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,280,000	△0.7	72,500	△47.5	73,500	△45.0	32,000	△50.3	800.21

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	40,000,000株	24年3月期	40,000,000株
25年3月期2Q	10,353株	24年3月期	10,283株
25年3月期2Q	39,989,717株	24年3月期2Q	39,989,783株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、欧州債務問題の影響などにより引き続き減速した状態が続きまし
た。わが国経済については、これら世界経済の影響を受けましたが、復興関連需要などが国内景気を下支えし、
概ね横ばいの動きとなりました。

こうした環境下、国内の石油製品需要は、揮発油、軽油などはほぼ前年並みとなりましたが、原子力発電所の
稼働数が減少したことで火力発電所向けの重油が増加したことから、全体では前年を上回りました。

ドバイ原油価格は期初の120ドル／バレル近辺から、景気減速による需要伸長の鈍化観測や、リスク回避の動
きから投機資金が流出した影響などにより、6月後半には90ドル／バレルを下回りました。しかし、その後はイ
ラン情勢が緊迫化したことなどにより上昇に転じ、9月中旬には米国で追加金融緩和が発表されたことなどから
115ドル／バレルを上回る価格となりました。これらの結果、4～9月の平均価格は前年同期比2.6ドル／バレル
下落の106.3ドル／バレルとなりました。

石油化学製品需要は、中国景気の減速感が強まったことなどにより減少しました。石油化学原料であるナフサ
価格は原油価格と同様に下落した後、上昇に転じ前年同期比では43ドル／トン下落の954ドル／トンとなりまし
た。

(原油価格、ナフサ価格、為替レート of 状況)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	
ドバイ原油 (ドル／バレル)	108.9	106.3	△2.6	△2.4%
ナフサ価格 (ドル／トン)	997	954	△43	△4.3%
為替レート (円／ドル)	80.8	80.4	△0.4	△0.5%

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、ほぼ前年並みの2兆524億円となりました。

営業利益は、原油価格の下落により在庫評価損が発生したことや、期初の原油価格急落により石油製品マー
ジンの縮小した影響などにより、前年同期比62.6%減の279億円となりました。

営業外損益は、持分法投資利益が損失に転じた影響などにより、前年同期比48億円損失増の40億円の損失とな
りました。この結果、経常利益は前年同期比68.4%減の239億円となりました。

特別損益は、前年同期比15億円損失減の14億円の損失となりました。また、法人税等及び少数株主利益は、前
年同期比32.9%減の201億円となりました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期比94.3%減の24億円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

[石油製品部門]

当第2四半期連結累計期間における石油製品部門の売上高は、原油価格は下落しましたが、販売数量が増加し
たことなどによりほぼ前年並みの1兆7,007億円となりました。

営業利益は、経費削減や合理化などによる増益要因はあったものの、原油価格下落により在庫評価損が発生し
たほか、製品マージンが縮小した影響などから、前年同期比89.7%減の51億円となりました。

[石油化学製品部門]

当第2四半期連結累計期間における石油化学製品部門の売上高は、中国需要の伸びが鈍化し販売数量が減少し
たことや、通関ナフサ価格が下落したことなどにより、前年同期比4.7%減の2,527億円となりました。

営業利益は、経費削減による増益要因はあったものの、販売数量が減少したことに加えて製品マージンが縮小
したことなどの影響で、前年同期比24.1%減の57億円となりました。

[資源部門]

(石油開発事業)

当第2四半期連結累計期間における石油開発事業の売上高は、1月～6月のブレント原油価格が113.3ドル／
バレルと前年同期比2.1ドル／バレル上昇しましたが、販売数量が減少したことなどから、前年同期比3.1%減
の444億円となりました。営業利益は探鉱費の減少などにより53.1%増の186億円となりました。

(石炭事業・その他事業)

当第2四半期連結累計期間における石炭事業・その他事業の売上高は、石炭の販売価格が上昇したものの、豪
ドル高による為替の影響や、販売数量が減少したことなどにより前年同期比9.8%減の381億円となり、営業利益
は降雨による生産効率の悪化からコストが上昇したことも影響し、前年同期比95.1%減の5億円となりました。

以上の結果、資源部門は、売上高は前年同期比6.3%減の825億円、営業利益は前年同期比10.5%減の190億円
となりました。

[その他部門]

当第2四半期連結累計期間におけるその他部門の売上高は、前年6月に株式公開買い付けにより(株)エス・ディー・エス バイオテックを連結子会社としたことなどから、前年同期比64.3%増の165億円となり、営業損益は前年同期比7億円利益増の5億円の営業利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部・負債の部及び純資産の部の状況

資産の部では、原油価格の下落などにより売掛債権及びたな卸資産が減少し、負債の部では買掛債務が減少しました。有利子負債は、前連結会計年度から156億円減の9,042億円となりました。これらの結果、連結総資産は前連結会計年度末に比べ1,341億円減の2兆5,481億円となり、連結総負債は前連結会計年度末に比べ1,318億円減の1兆9,358億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億円減の6,123億円となり、自己資本比率は22.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成24年8月7日公表の予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	171,480	152,863
受取手形及び売掛金	452,348	358,704
たな卸資産	585,579	571,676
その他	122,243	116,272
貸倒引当金	△1,092	△1,006
流動資産合計	1,330,559	1,198,509
固定資産		
有形固定資産		
土地	601,434	599,325
その他（純額）	384,691	391,094
有形固定資産合計	986,125	990,419
無形固定資産		
のれん	32,027	31,208
その他	20,713	19,737
無形固定資産合計	52,741	50,945
投資その他の資産		
油田プレミアム資産	89,018	82,348
その他	224,091	226,295
貸倒引当金	△396	△437
投資その他の資産合計	312,713	308,207
固定資産合計	1,351,579	1,349,572
資産合計	2,682,139	2,548,082
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	407,490	343,447
短期借入金	353,625	398,226
コマーシャル・ペーパー	14,998	19,998
未払金	272,367	253,464
未払法人税等	25,429	16,081
その他	104,223	85,890
流動負債合計	1,178,135	1,117,108
固定負債		
社債	—	20,000
長期借入金	547,303	462,444
退職給付引当金	24,387	20,547
修繕引当金	25,064	30,098
資産除去債務	31,511	34,384
油田プレミアム負債	92,473	86,204
その他	168,750	165,040
固定負債合計	889,490	818,719
負債合計	2,067,626	1,935,828

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	108,606	108,606
資本剰余金	71,131	71,131
利益剰余金	288,762	286,367
自己株式	△117	△118
株主資本合計	468,382	465,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	△1,870
繰延ヘッジ損益	△5,876	△4,194
土地再評価差額金	151,432	151,276
為替換算調整勘定	△28,205	△26,935
その他の包括利益累計額合計	118,193	118,276
少数株主持分	27,936	27,990
純資産合計	614,513	612,253
負債純資産合計	2,682,139	2,548,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	2,067,658	2,052,425
売上原価	1,869,732	1,904,022
売上総利益	197,925	148,402
販売費及び一般管理費		
運賃	27,506	27,297
賞与引当金繰入額	5,450	5,266
退職給付引当金繰入額	2,051	1,849
その他	88,154	86,055
販売費及び一般管理費合計	123,163	120,468
営業利益	74,762	27,933
営業外収益		
受取利息	914	799
受取配当金	851	2,559
為替差益	275	1,071
持分法による投資利益	5,416	—
その他	2,047	793
営業外収益合計	9,505	5,223
営業外費用		
支払利息	7,812	7,235
持分法による投資損失	—	682
その他	892	1,334
営業外費用合計	8,704	9,253
経常利益	75,563	23,904
特別利益		
固定資産売却益	697	603
その他	64	116
特別利益合計	761	719
特別損失		
減損損失	985	372
投資有価証券評価損	384	667
固定資産売却損	107	182
固定資産除却損	690	879
訴訟関連損失	1,313	—
その他	138	12
特別損失合計	3,619	2,114
税金等調整前四半期純利益	72,704	22,509
法人税等	28,613	17,576
少数株主損益調整前四半期純利益	44,090	4,933
少数株主利益	1,265	2,485
四半期純利益	42,825	2,448

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	44,090	4,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,387	△2,748
繰延ヘッジ損益	1,067	986
為替換算調整勘定	7,964	1,220
持分法適用会社に対する持分相当額	405	881
その他の包括利益合計	7,050	339
四半期包括利益	51,141	5,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,885	2,686
少数株主に係る四半期包括利益	3,255	2,586

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	72,704	22,509
減価償却費	30,490	26,962
減損損失	985	372
のれん償却額	1,232	1,339
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,132	△3,842
修繕引当金の増減額 (△は減少)	4,088	5,033
受取利息及び受取配当金	△1,766	△3,358
支払利息	7,812	7,235
固定資産売却損益 (△は益)	△589	△420
売上債権の増減額 (△は増加)	23,733	95,473
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△21,408	14,204
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,149	△65,243
未払金の増減額 (△は減少)	△8,095	△18,915
未収入金の増減額 (△は増加)	△17,440	11,444
その他	△40,165	△32,761
小計	82,598	60,034
利息及び配当金の受取額	3,712	3,395
利息の支払額	△7,983	△7,167
法人税等の支払額	△16,241	△24,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,085	31,434
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,101	△27,508
有形固定資産の売却による収入	3,564	2,645
無形固定資産の取得による支出	△908	△1,933
投資有価証券の取得による支出	△1,565	△1,923
投資有価証券の売却による収入	554	3,009
貸付金の純増減額	935	335
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,537	—
その他	△105	△4,467
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,164	△29,841

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	69,344	△25,186
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△24,991	4,999
長期借入金の返済による支出	△67,330	△13,009
社債の発行による収入	—	20,000
自己株式の取得による支出	△3	△0
配当金の支払額	△4,998	△4,998
少数株主への配当金の支払額	△1,807	△2,669
その他	△114	140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,901	△20,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,985	843
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,005	△18,289
現金及び現金同等物の期首残高	154,749	171,080
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	413	71
現金及び現金同等物の四半期末残高	166,167	152,863

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	石油製品	石油化学 製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,704,342	265,226	88,027	2,057,596	10,062	2,067,658	—	2,067,658
セグメント間の内部 売上高又は振替高	684	1,123	0	1,809	440	2,250	△2,250	—
計	1,705,027	266,349	88,027	2,059,405	10,503	2,069,908	△2,250	2,067,658
セグメント利益又は損失(△)	49,016	7,466	21,293	77,776	△244	77,532	△2,769	74,762

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△2,769百万円には、セグメント間取引消去△1,114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,654百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	石油製品	石油化学 製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,700,707	252,701	82,489	2,035,898	16,526	2,052,425	—	2,052,425
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,223	1,259	0	2,483	831	3,315	△3,315	—
計	1,701,930	253,960	82,490	2,038,381	17,358	2,055,740	△3,315	2,052,425
セグメント利益又は損失(△)	5,058	5,667	19,047	29,773	489	30,262	△2,329	27,933

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△2,329百万円には、セグメント間取引消去△980百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,349百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要なものはありません。